

I. 問題提示 課題把握 (つかむ)	自 己 ① 話しやすい雰囲気づくり、傾聴と受容 ② 目的や目標（めあて）の理解 ③ 学習の見通しの確認（流れ・時間・内容・方法等） ④ 既習内容や経験の想起・活用 ⑤ 問題意識の喚起 ⑥ 目的に応じた ICT の選択・活用(クロームブック・デジタル教科書)	事 象
II. 自力解決 (考える)	自 己 ① 傾聴と受容 ② 調査や整理、表現方法の助言 ③ 多様な見方や視点の助言 ④ 考え方の助言（理由や根拠、共通点や差異点、比較、分類、関連付け、推論等 別紙参照） ⑤ 曖昧な意見の明確化 ⑥ 目的や目標の確認・方向付け・修正 ⑦ 目的に応じた ICT 活用の助言(クロームブック・デジタル教科書)	
III. 集団解決 (学び合う)	他 者 ① 話しやすい雰囲気づくり、傾聴と受容 ② 話合いの進め方の確認 ③ 問題意識の喚起 ④ 意見を引き出す質問や言葉かけ ⑤ 多様な見方や視点の助言 ⑥ 考え方の助言（理由や根拠、共通点や差異点、比較、分類、関連付け、推論等 別紙参照） ⑦ 意見の関連付け ⑧ 対立点の把握・提示、意図の設定 ⑨ 賛成・反対の立場の確認 ⑩ 曖昧な意見の明確化 ⑪ 要点の整理 ⑫ 目的や目標の確認・方向付け・修正 ⑬ 合意形成・意思決定の方向付け ⑭ 目的に応じたICTの選択・活用(クロームブック・デジタル教科書)	
IV. 価値の深化 (まとめ、振り返る R80)	自 己 ・ 他 者 ① 傾聴と受容、肯定的評価 ② 内容の助言（目的や目標との整合、今後の問題意識、疑問） ③ 方法の提示（理由付け、文字数、接続語等） ④ 振り返りの共有化（共通点や差異点、新たな気付き、疑問、次への活用等） ⑤ 目的に応じた ICT の選択・活用(クロームブック・デジタル教科書)	

「考え方の助言」から表現力育成を促進・深化させるための「思考スキル」の一覧（別紙）

思考スキル	定 義
1 多面的にみる	多様な視点や観点に立って対象を見る
2 変化をとらえる	視点を定めて前後の違いをとらえる
3 順序立てる	視点に基づいて対象を並び替える
4 比較する	対象の相違点、共通点をみつける
5 分類する	属性に従って複数のものをまとまりに分ける
6 変換する	表現の形式（文・図・絵など）を変える
7 関係づける	学習事項同士のつながりを示す
8 関連づける	自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する
9 理由づける	意見や判断の理由や根拠を示す
10 見通す	自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する
11 抽象化する	事例からきまりや包括的な概念をつくる
12 焦点化する	重点を定め、注目する対象を決める
13 評価する	視点や観点をもち、根拠に基づいて対象への意見をもる
14 応用する	既習事項を用いて課題・問題を解決する
15 構造化する	順序や筋道をもとに部分同士を関係づける
16 推論する	根拠に基づいて先や結果を予想する
17 具体化する	学習事項に対応した具体例を示す
18 広げてみる	物事についての意味やイメージ等を広げる
19 要約する	必要な情報に絞って情報を単純・簡単にする

※ 中京大学 教養教育研究院教授 泰山 裕先生 「思考スキル」と「思考ツール」より参照